

横浜市こども・子育て基本条例に基づく
令和7年度の こどもの意見表明に関する取組状況 について

1 趣旨

横浜市こども・子育て基本条例（令和7年4月1日施行、以下「条例」という）第14条の規定に基づき、令和7年度の建築局における、こどもの意見表明に関する取組状況等について報告します。

2 条例における位置づけ

条例において、こども・子育てに関する施策を推進するに当たっては、こどもが、社会を構成する一員として、その年齢及び発達に応じて、意見を表明する機会を確保し、その意見を施策に反映させるよう努めること、こども・子育てに関連するあらゆる分野における施策を講ずるに当たっては、こどもの視点を重視するよう努めること等が市の責務として位置付けられています。（第5条）

また、市長は、毎年、こども・子育てに関する施策へのこどもの意見の反映の状況等について、市会に報告することとされています。（第14条）

今回報告する取組の範囲は、施策・事業・取組への反映を主な目的として、アンケートやワークショップ、会議、意見公募、インタビュー・ヒアリングなど、こどもから直接意見を聴いているもののうち、次の内容に該当するものとしています。

- 本市（指定管理者・委託事業者を含む）が主催・共催している
- こども・若者（未就学児から20代程度まで）が意見を聴く対象に含まれている
- すべての市民等を対象とする取組については、こども・若者から意見を聴くための工夫を行っている

（例）・難しい漢字や用語を使わずに、一般向けとは別に、こども・若者にわかりやすく書かれた資料を使っている
・特にこども・若者に特化した広報PRを行っている

4 建築局の取組状況

取組①	「わくわく！こどもハロウィン in 横浜北仲フェス」への 木育体験コンテンツ内で行ったシールアンケート 【建築企画課】	
取組内容	民間建築物への木材利用普及を目的として、市民向けの木育イベントを「わくわく！こどもハロウィン in 横浜北仲フェス」（総務局主催）内で開催した。 翌年度以降のイベントコンテンツ、及び木育・木材利用普及の取組検討のために、6つの選択肢から「気になるもの」を選んでもらうシールアンケートを実施した。	
対 象	未就学児から小学校低学年（約400人）	
実施時期	令和7年10月18日、19日	
主な意見と 活用方法等	アンケートでは、「木工体験」が最も多くの票を集め、次いで「木の空間」「家庭の木育」「木造建築」「森のしくみ」「木材と環境」の順となった。 令和8年度のイベント内容や、同年度から実施予定の環境教育出前講座の内容検討の参考として活用する。	



4 建築局の取組状況

取 組 ②	中高生向けの工事現場見学会における参加者へのアンケート 【営繕企画課】
取組内容	建設業に、より興味を持ってもらうための方法を考案していくため、参加者を対象にアンケートを実施した。 また、外壁デザインのアンケートを行い、こどもたちに建築の仕事の醍醐味であるデザイン決めに体験してもらった。 
対 象	中学生、高校生（10人）
実施時期	令和7年12月25日
主な意見と活用方法等	参加者からは、「建築現場を近くで見ることができ、仕事や現場の雰囲気を知ることができた」「様々な会社関わって工事が進められていることが分かった」などの意見があり、現場ならではの学びにつながっていることが確認できた。多様な担い手によって進められる建設工事の魅力を伝えられるよう、いただいた意見を令和8年度の現場見学会の内容検討に活用した。 また、見学会当日、見学対象の建築物の外壁デザイン2案について、挙手により意見を聴取した。いただいた意見はデザイン検討に活用され、最も支持を集めた案が実際の外壁デザインとして採用された。

4 建築局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
1	「わくわく！こどもハロウィン in 横浜北仲フェス」への木育体験コンテンツ内で行ったシールアンケート	建築企画課	未就学児から小学校低学年（約400人）	令和7年10月18日、19日	アンケートでは、「木工体験」が最も多くの票を集め、次いで「木の空間」「家庭の木育」「木造建築」「森のしくみ」「木材と環境」の順となった。 令和8年度のイベント内容や、同年度から実施予定の環境教育出前講座の内容検討の参考として活用する。
2	よこはま建築ひろばにおけるこどもワークショップ参加者へのアンケート	営繕企画課	3歳～中学生（500人）	令和7年11月15日	参加したこどもへのアンケートでは、98.7%が「今日のワークショップを楽しめた」、97.1%が「建築に興味が湧いた」と回答。また、「普段できない貴重なものづくりの体験ができた」、「このようなワークショップはまた開催してほしい」といった意見も寄せられた。 これらの結果や意見は、各ワークショップを出展した建設関連団体へフィードバックし、出展内容の振り返りや改善に活用した。 今後は、こどもたちの意見を踏まえながら、体験内容の充実や新たなプログラムの検討など、イベント運営や企画内容の改善に取り組んでいく。
3	中高生向けの工事現場見学会における参加者へのアンケート	営繕企画課	中学生、高校生（10人）	令和7年12月25日	参加者からは、「建築現場を近くで見ることができ、仕事や現場の雰囲気を知ることができた」「様々な会社に関わって工事が進められていることが分かった」などの意見があり、現場ならではの学びにつながっていることが確認できた。多様な担い手によって進められる建設工事の魅力を伝えられるよう、いただいた意見を令和8年度の現場見学会の内容検討に活用した。 また、見学会当日、見学対象の建築物の外壁デザイン2案について、挙手により意見を聴取した。いただいた意見はデザイン検討に活用され、最も支持を集めた案が実際の外壁デザインとして採用された。
4	第4期横浜市耐震改修促進計画改定に係るこどもからの意見募集	建築防災課	小学生、中学生、高校生（0人）	令和8年1月8日～令和8年2月6日	漢字にはルビを振りこどもでもわかりやすい表現としたが、今後はイラストを配置する等、よりイメージが掴みやすいような工夫をすることで、こどもの意見把握に努める。